

令和7年4月4日

令和7年1学期始業式あいさつ

- みなさん、おはようございます。校長の都丸です。
- いよいよ令和7年度が始まります。みなさんは、この年度末年度はじめはどうに過ごしたのでしょうか。
- 3月25日の修了式には、みなさんに「自分にまけず、諦めることなく何事にもチャレンジしてもらいたいこと、そして、しっかりと目標を持ち、インクルーシブな学校づくりに取り組んでもらいたいこと」を伝えさせてもらいました。
- 自分の目標や自分なりのインクルーシブな取組みは考えたでしょうか。
しっかりと考えた人は、それに向かって一歩でも、二歩でも近づけるように取り組んでください。
- さて、今年に入ってから、天候が安定しない日々が続いています。例年の季節にはないような気温差があります。
- 気温が低い日には、私は、決まって東日本大震災のことを思い出します。室外で何時間もいて、とても寒かったのと、不安な気持ちもありましたが、何となく自分は大丈夫という気持ち、これは心理学の言葉では正常性バイアスという精神状態になっていたというのですが、直接的な被害を受けないと自分事として考えられなかつたことを反省しています。
- 能登半島地震から1年が経過しました。被災された地域の方々は、今はどのように過ごされているのでしょうか。早く暖かい日が訪れて欲しいと願うばかりです。
- 海外でも震災の話題、国内でも森林火災による被害がニュースとなっています。そんな中、3月31日に、南海トラフ巨大地震が発生した場合の新たな被害想定を政府が出しました。県内では、津波による死者が3100人に上り、相模湾沿いの首都圏では最多となっていることです。
- しかし、避難に時間を要する深夜の発生でも10分以内に行動を開始できれば、死者をほぼ0（ゼロ）に抑えることが可能だということです。
- 大大切なことは自分の命を守ることです。まずは、自分の身を守るために、そうした災害が起こった時にどのように対応するのかを考えておくことが必要です。それが自助、そしてその次に必要なことは、ともに助け合う共助です。
- 何ごとも「備えあれば患いなし」といいます。地震や災害に限ったことではありません。自分自身が行動する際には、その先に何があるのか、どのようなことが想定されるのか。イメージすることが大切です。

- その先をイメージし、自分の頭で、あるいは行動でシミュレーションすることができるとよいと思います。
- その第1歩として、今年度あるいは今学期の目標を定め、計画的に取り組むことができれば、先を見て行動することが習慣化されると思います。
- また、こうしたことは、他者とのコミュニケーションにも同じことがあります。このことを言つたら相手がどのように感じるのか。どのように伝えるとよいのか。
- 先のことをイメージするこのことは、インクルーシブな学校づくりの一歩になると思います。自分を大切にする人は、他者を思いやることができると思います。みなさん、ひとり一人が考え、行動することが必要です。
- それでは、みなさんにとて素晴らしい1年になるよう期待しています。